

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公表番号】特表 2003-512028 (P2003-512028A)

【公表日】平成 15 年 4 月 2 日 (2003.4.2)

【出願番号】特願 2001-530364 (P2001-530364)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/715 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 14/715

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
G 0 1 N	33/577	B
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	15/00	C
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 E L C、S L CまたはT E C Kに結合する、単離されたC C X C K Rポリペプチドもしくは組換えC C X C K Rポリペプチド、またはこれらのフラグメント。

【請求項2】 前記ポリペプチドが、配列番号2に少なくとも90%同一であるアミノ酸配列を有する、請求項1に記載のポリペプチドまたはフラグメント。

【請求項3】 配列番号2のポリペプチドに対して作製された抗体に特異的に結合する、請求項2に記載のポリペプチドまたはフラグメント。

【請求項4】 配列番号2に同一なアミノ酸配列を有する請求項1に記載のポリペプチド、またはその免疫原性フラグメント。

【請求項5】 請求項1に記載のポリペプチドを含む、融合タンパク質。

【請求項6】 請求項1に記載のポリペプチドまたはそのフラグメントをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項7】 ケモカイン結合活性を有するポリペプチドをコードする配列を含むポリヌクレオチドであって、該ポリヌクレオチドが：

(a) 配列番号1もしくは配列番号3の配列を有するポリヌクレオチド；または

(b) ストリンジェントな条件下で(a)にハイブリダイズするポリヌクレオチド；または

(c) (a)もしくは(b)に規定される配列に対して遺伝暗号の結果として縮重しているポリヌクレオチド配列、である、ポリヌクレオチド。

【請求項8】 プロモーターに作動可能に連結された、請求項7に記載のポリヌクレオチド。

【請求項9】 請求項7に記載のポリヌクレオチドを含む、組換えベクター。

【請求項10】 発現ベクターである、請求項9に記載のベクター。

【請求項11】 請求項9に記載のベクターを含む、細胞。

【請求項12】 真核生物細胞または哺乳動物細胞である、請求項11に記載の細胞。

【請求項13】 C C X C K Rのタンパク質、ペプチドまたは融合タンパク質を産生するための方法であって、ポリヌクレオチドが発現される条件下で請求項11に記載の

細胞を培養する工程を包含する、方法。

【請求項 14】 配列番号 1 に同一であるかまたは配列番号 1 に正確に相補的である少なくとも 15 個連続する塩基を含む、ポリヌクレオチドプライマー、プローブ、アンチセンスオリゴヌクレオチド、またはリボザイム。

【請求項 15】 請求項 4 に記載のポリペプチドに特異的に結合する、抗体または抗体フラグメント。

【請求項 16】 モノクローナル抗体である、請求項 15 に記載の抗体。

【請求項 17】 前記抗体が少なくとも約  $10^8 \text{ M}^{-1}$  の親和性で結合する、請求項 16 に記載の抗体。

【請求項 18】 請求項 16 に記載の抗体を分泌し得る、単離された細胞。

【請求項 19】 請求項 16 に記載の抗体を分泌し得る、ハイブリドーマ。

【請求項 20】 サンプル中の C C X C K R 遺伝子産物を検出する方法であって、以下：

a) 該サンプルを、該遺伝子産物に特異的に結合するプローブと接触させる工程であって、該プローブおよび該遺伝子産物は、複合体を形成する、工程、および該複合体の形成を検出する工程；または

b) 該生物学的サンプル中の該遺伝子産物を特異的に増幅する工程であって、ここで、該遺伝子産物は、ポリヌクレオチドである工程、および該増幅産物を検出する工程；を包含し、ここで、該複合体の形成または該増幅産物の存在が、該生物学的サンプル中の該 C C X C K R 遺伝子産物の存在と相関する、方法。

【請求項 21】 前記遺伝子産物がポリペプチドである、請求項 20 に記載の方法。

【請求項 22】 前記プローブが抗体である、請求項 20 に記載の方法。

【請求項 23】 前記遺伝子産物が R N A であり、そして前記プローブがポリヌクレオチドである、請求項 20 に記載の方法。

【請求項 24】 サンプル中の C C X C K R ポリペプチドを増幅する方法であって、以下：

(a) ポリメラーゼ連鎖反応に十分な試薬および少なくとも 2 つの異なるプライマーを該サンプルに添加する工程であって、ここで、該プライマーの各々は、配列番号 1 に同一であるかもしくは配列番号 1 に正確に相補的である少なくとも 10 個連続するヌクレオチドを含む、工程；または

(b) リガーゼ連鎖反応に十分な試薬および少なくとも 2 つの異なるオリゴマーを該サンプルに添加する工程であって、ここで、該プライマーの各々は、配列番号 1 に同一であるかもしくは配列番号 1 に正確に相補的である少なくとも 10 個連続するヌクレオチドを含む、工程を包含する、方法。

【請求項 25】 ケモカインに対する C C X C K R の結合のモジュレーターを同定するための方法であって、以下：

(a) 単離された C C X C K R ポリペプチドもしくは組換え C C X C K R ポリペプチドおよび該ケモカインを、試験化合物の存在下で接触させる工程、および

(b) (a) における該ケモカインおよび該ポリペプチドの結合レベルを、該試験化合物の非存在下における該結合レベルと比較する工程、を包含し、

ここで、結合における減少が、該試験化合物は結合のインヒビターであることを示し、そして結合における増加が、該試験化合物は結合のエンハンサーであることを示す、方法。

【請求項 26】 前記ケモカインが、E L C、S L C、T E C K、B L C、C T A C K、m M I P - 1、または v M I P I I である、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】 前記ポリペプチドを接触させる工程が、該ポリペプチドを発現する細胞を接触させることを包含する、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 28】 薬学的組成物を提供するためのプロセスであって、請求項 25 に記

載の方法の工程を実施し、その後に薬学的使用のためのモジュレーターを処方する工程を包含する、プロセス。

【請求項 29】 C C X C K R 活性のモジュレーターを同定する方法であって、請求項 1 に記載の組換えポリペプチドを発現する細胞および試験化合物を接触させる工程、ならびに該試験化合物の非存在下では生じないが該試験化合物の存在下で生じる生物学的効果に関してアッセイする工程を包含し、ここで、生物学的効果を誘導する試験化合物が C C X C K R 活性のモジュレーターとして同定される、方法。

【請求項 30】 前記生物学的効果がレセプターインターナリゼーションである、請求項 29 に記載の方法。

【請求項 31】 前記細胞をケモカインと接触する工程をさらに包含する、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 32】 薬学的組成物を提供するためのプロセスであって、請求項 25 に記載の方法の工程を実施し、その後に薬学的使用のための C C X C K R 活性のモジュレーターを処方する工程を包含する、プロセス。

【請求項 33】 哺乳動物における C C X C K R 媒介状態を処置するための組成物であって、該哺乳動物の細胞または組織において C C X C K R の活性または発現を調節する因子を含む、組成物。

【請求項 34】 前記因子が、E L C、S L CまたはT E C Kに対する C C X C K R の結合を阻害する因子である、請求項 33 に記載の組成物。

【請求項 35】 請求項 33 に記載の組成物であって、前記 C C X C K R 媒介状態が、炎症、アレルギー、自己免疫疾患、移植片拒絶、癌、感染性疾患または免疫抑制疾患である、組成物。

【請求項 36】 前記 C C X C K R 媒介状態が、炎症である、請求項 35 に記載の組成物。

【請求項 37】 哺乳動物における C C X C K R 媒介状態を処置するための医薬の製造における、該哺乳動物の細胞または組織において C C X C K R の活性または発現を調節する因子の使用。

【請求項 38】 前記因子が、E L C、S L CまたはT E C Kに対する C C X C K R の結合を阻害する因子である、請求項 37 に記載の使用。

【請求項 39】 請求項 37 に記載の使用であって、前記 C C X C K R 媒介状態が、炎症、アレルギー、自己免疫疾患、移植片拒絶、癌、感染性疾患または免疫抑制疾患である、使用。

【請求項 40】 前記 C C X C K R 媒介状態が、炎症である、請求項 39 に記載の使用。